

男女共同参画学協会連絡会

科学技術の分野において女性と男性がともに個性と能力を發揮できる環境とネットワーク作りを！

平成 14 年 10 月設立

設立の目的:

自然科学分野の男女共同参画を推進する

加盟学協会:

67 (正式加盟 38、オブザーバ参加 29)

加盟学協会会員総数:

約 41 万人 (女性会員:約 2 万人)



第 5 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムにて

自然科学系の分野で働く女性科学者の数は著しく少なく、また、少子化が著しく進行しているわが国では、将来の技術者不足が憂慮されており、女性科学者への期待は高まっています。自然科学系分野の男女共同参画を進めるために、学協会が連携して男女共同参画学協会連絡会を設立しました。

これまでの活動

大規模アンケート調査

今後の男女共同参画推進における課題を明らかにするために科学技術系専門職の男女共同参画実態調査が行われている。

第 1 回「21 世紀の多様化する科学技術研究者の理想像-男女共同参画推進のために-」

平成 15 年度文部科学省委託事業報告書

<http://annex.jsap.or.jp/renrakukai>

第 2 回「科学技術系専門職における男女共同参画学協会連絡会共同参画の大規模調査」

平成 19 年度文部科学省委託事業報告書

<http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/enquete.html>

第 3 期科学技術基本計画に関する要望

- 男女共同参画社会実現のために -

- 1) 男女共同参画モデル事業制度の創設・継続、柔軟な運用
- 2) 女性研究者採用と昇格に対する数値目標の設定と特別交付金
- 3) 男女の処遇差を低減するための具体的施策
- 4) 育児支援の具体的施策の推進
- 5) 女子学生の理工系学部進学へのチャレンジ・キャンペーンの推進

要望

左記のアンケート調査の結果、男女共同参画推進のために下記の要望をまとめた。

<http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/request/index.html>

- 1) 科学技術振興調整費による「女性研究者支援モデル育成」事業の推進と拡充
- 2) 競争的研究資金事業における「復帰支援制度」及び「出産・子育て等支援制度」の拡充
- 3) ポスドク等任期付職の出産・育児等ライフイベントや将来設計に関する不安の払拭
- 4) 女子中高生の理系進路選択支援の推進

科学技術理解増進

より多くの女子小中校生に科学技術を理解してもらうための活動を行っている。

- 1) 女子高生夏の学校
- 2) 女子高生春の学校
- 3) その他多くの企画を後援

正式加盟学協会:

応用物理学会、日本天文学会、化学工学会、日本動物学会、高分子学会、日本物理学会、日本宇宙生物科学会、日本分子生物学会、日本化学会、日本細胞生物学会、日本女性科学者の会、日本生態学会、日本原子力学会、日本比較内分泌学会、日本植物生理学学会、日本発生生物学会、日本数学会、電子情報通信学会、日本森林学会、日本神経科学学会、日本生化学会、日本バイオイメージング学会、日本生物物理学会、日本蛋白質科学会、日本生理学会、日本糖質学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本育種学会、日本結晶学会、日本地球惑星科学連合、日本繁殖生物学会、生態工学会、錯体化学会、日本建築学会、日本進化学会、日本遺伝学会、種生物学会、日本獣医学会

オブザーバ参加学協会:
映像情報メディア学会、自動車技術会、日本液晶学会、地盤工学会、日本分析化学会、照明学会、日本女性技術者フォーラム、精密工学会、電気化学会、日本金属学会、日本応用磁気学会、日本火災学会、日本機械学会、日本テータベース学会、土木学会、日本鉄鋼協会、日本植物学会、石油学会、日本科学者会議、日本魚類学会、日本プロセス化学会、日本バイオインフォマティクス学会、日本水環境学会、日本水産増殖学会、日本鳥学会、日本表面科学会、日本放射光学会、電気学会、日本木材学会

幹事学会: 第 1 期 (応用物理学会)、第 2 期 (日本物理学会)、第 3 期 (日本化学会、日本原子力学会)、
第 4 期 (日本分子生物学会)、第 5 期 (日本生物物理学会)、第 6 期 (日本地球惑星科学連合)

連絡先: 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部 宇宙科学情報解析研究系内

男女共同参画学協会連絡会第 6 期事務局 TEL 042-759-8404 FAX 042-759-8405

e-mail: danjo_office@ML.isas.jaxa.jp